

教 養 論 叢

第 146 号 2025

三瓶慎一先生退職記念特集号

目 次

序	大久保教宏	i
論 説		
Musik, Logik, Germanistik ——ドイツ語の -ik 外来名詞のアクセントについての試論——	三瓶慎一	1
フォークアートと公共空間 ——現代アメリカにおけるメキシコ文化の受容をめぐって——	鈴木 透	27
“Another Unfortunate” ——ヴィクトリア朝の廉価既製服業界とその反対運動——	横山千晶	55
クローデルは存在したか	大出 敦	424(1)
日本におけるモダニズム長編詩の創造 ——T・S・エリオットの『四つの四重奏』から西脇順三郎の 『失われた時』へ——	佐藤元状	75
現代中国における大区制度の復活 ——大躍進政策と協作区の設置——	磯部 靖	105
S know O by sight の意味 ——この by は 〈手段〉か非〈手段〉か——	平沢慎也	161

La critique de danse avant Mallarmé : autour de la lecture de « Crayonné au théâtre » MURAKAMI, Yumi	195
いわゆる壁の射殺事件裁判 (Mauerschützenprozesse) と刑法による過去の克服 久保田隆	217
Vom erfolgreichen Wirken eines didaktischen Visionärs — „Nachruf“ auf Shinichi Sambes innovatives Konzept für den Intensivkurs Deutsch an der Juristischen Fakultät der Keio Universität — SCHART, Michael	235
Interkulturelle Mediation – was ist sie und welche Bedeutung hat sie für die interkulturelle Entwicklung? CHAN, Wai Meng	251

研究ノート

試論：西ドイツの「リベラル化」の足かせにもなった68年運動？ ——兵役拒否をめぐるカトリックの議論にみる運動のアンビヴァレントな影響—— 小野竜史	277
海外派兵と与党 ——ドイツ社会民主党の議論に注目して—— 高島亜紗子	297
ドイツの政治財団 ——その役割と課題—— 田口季京	317

翻訳

「帰巢本能」(マイク・フォックス作) 横山千晶	337
--------------------	------------	-----

エッセイ

三瓶先生のドイツ語授業が私にくれたもの 入山 薫	349
---------------------	------------	-----

三瓶先生と三瓶さん	近藤あずさ	357
来し方行く末 ——経歴と仕事——	三瓶慎一	363
ドイツ語インテンシブコースの30年を振り返る	三瓶慎一	375